

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 3 月 24 日 (2016.3.24)

【公開番号】特開 2015-115794 (P2015-115794A)  
 【公開日】平成 27 年 6 月 22 日 (2015.6.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-040  
 【出願番号】特願 2013-256651 (P2013-256651)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 76/04 (2009.01)

H 0 4 W 88/16 (2009.01)

H 0 4 W 8/26 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 76/04

H 0 4 W 88/16

H 0 4 W 8/26 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 8 日 (2016.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記接続部は、前記第 1 のアドレスが動的に変更可能なアドレスであり、かつ、前記判定部によって前記第 1 のアドレスが攻撃対象であると判定された場合、前記第 1 の無線アクセス方式による接続を切断するとともに、前記第 1 のアドレスとは異なる第 2 のアドレスを前記無線通信装置に割り当て、前記第 2 のアドレスに応じた第 2 の無線アクセス方式により、前記第 2 のアドレスが割り当てられた前記無線通信装置と無線通信可能に接続し、

前記制御部は、前記転送部を制御して、前記第 2 のアドレスを宛先とする第 2 のパケットを受信して、前記第 2 のアドレスが割り当てられた前記無線通信装置に転送することを特徴とする請求項 3 に記載の転送装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

攻撃パターンとなるパケットの特徴情報を記憶する記憶部と、

前記転送部を制御して、前記第 1 のパケットのうち、前記特徴情報を参照して前記攻撃パターンに該当すると判断されなかった前記第 1 のパケットを、前記第 1 のアドレスが割り当てられた前記無線通信装置に転送する制御部と、を有することを特徴とする請求項 1 に記載の転送装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【請求項 9】**

前記制御部は、前記第 1 のパケットのうち、前記攻撃パターンに該当すると判断された前記第 1 のパケットを廃棄することを特徴とする請求項 8 に記載の転送装置。